

## 「あいち認証材」を使用した建築主、建築士の方々から寄せられたコメント

<p>①建設地：岡崎市 平成26年8月完成</p>	<p>④建設地：岡崎市 平成26年8月完成</p>
<p>建築面積：92 m<sup>2</sup> 階数：2階建て</p>	<p>建築面積：120 m<sup>2</sup> 階数：2階建て</p>
<p><b>建築主のコメント：</b> 自分自身がアレルギー体質のため、天然素材の家を強く希望した。その思いが見事にかなった家で大変満足している。</p>	<p><b>建築主のコメント：</b> 地産地消という言葉は見聞きしていましたが、食に関する言葉と感じていました。それが木材にも当てはまるのだと驚きました。材料まで考えられた家を作るといういい経験をしたと感じました。</p>
<p><b>建築士のコメント：</b> 準防火地域の建物であったが、外壁も軒裏も法規の許す範囲で杉板を使用した。内部に関しては、腰板・一部の壁・すべての天井で杉板を使用している。</p>	<p><b>建築士のコメント：</b> 地元材を使用する事は単に自己満足な事ではなく、材にどのような環境も良く、ひいては家にとっても大変重要な事であることを説明させていただき、お客様のご理解もありこちらの提案に耳を傾けて頂きました。</p>
<p>②建設地：一宮市 平成27年3月完成</p>	<p>⑤建設地：豊橋市 平成26年1月完成</p>
<p>建築面積：88 m<sup>2</sup> 階数：2階建て</p>	<p>建築面積：109 m<sup>2</sup> 階数：2階建て</p>
<p><b>建築主のコメント：</b> 「あいち認証材」という事で地域のイメージもわきやすく、そういった意味でぬくもりを感じます。また、大工さんが赤味・節の程度などを吟味しながら、材を使いこなしてくれて味わいのある家になったと思います。</p>	<p><b>建築主のコメント：</b> 梁などの杉がよい雰囲気を出しています。それに最近の貼り物より、多少節などがあって木らしくて良いと思います。</p>
<p><b>建築士のコメント：</b> ワークショップを開催しながら家づくりを行う事で、大学生を中心に多くの方に「あいち認証材」をお伝えできたと思います。</p>	<p><b>建築士のコメント：</b> 普段柱は桧、梁は米松といった当たりさわりのない材料を選択していたが、今回の「あいち認証材」利用を知ったところにより、柱は通常通り桧、梁は梁成のUPを検討し杉・桧を利用する事にした。昨今のどこから入ってきたか分からない材料より、地元の気候・風土で育った材料を利用する方に安心感がある。</p>
<p>③建設地：安城市 平成26年9月完成</p>	<p>⑥建設地：名古屋市長 平成27年1月完成</p>
<p>建築面積：90 m<sup>2</sup> 階数：2階建て</p>	<p>建築面積：77 m<sup>2</sup> 階数：2階建て</p>
<p><b>建築主のコメント：</b> 山の見学会に参加し、実際に樹齢100年の木が伐採される場所や、丸太が板に製材される場所など見学し、地元で育った木が自分の家の柱や梁になるとイメージが出来ました。家も骨組となる要の部分は特に「どこ産のものなのか」、メイドイン愛知と胸を張って言いたいです。</p>	<p><b>建築主のコメント：</b> 「あいち認証材」利用に貢献でき良かったです。木の良い香りが広がり、この木材がこの後どのように変化していくのか、今後の生活がとても楽しみです。</p>
<p><b>建築士のコメント：</b> 柱を表す新壁造りの家では、木目の美しさや木肌のやさしさを感じられる。木の香りが家全体を包み、住む人だけでなく訪問者を気持ちよく迎え入れる・・そんな和の住いが見直されつつあると感じます。長く住む継ぐ家を作る事が使命と思い取り組んでいます。「あいち認証材」を積極的に使い山に還元できるよう、今後も努めていきたいと思っています。</p>	<p><b>建築士のコメント：</b> 当社では「あいち認証材」を使用する無垢材の家づくりが標準仕様となっています。構造見学会・完成見学会など出来る限り開催する事で、少しでも「あいち認証材」を利用する事や、地産地消の考えの大切さが広まればよいと思います。今後もこのような制度を有効に活用し、「あいち認証材」利用の普及に貢献できればと思います。</p>

